

集中治療室系病棟入室患者さんを対象としたリハビリテーション治療に関する研究

研究課題名：集中治療室系病棟入室患者に対する全身振動刺激下でのスクワット運動の安全性：retrospective study

1. 研究の対象

対象となるのは、2021年1月7日から2024年12月31日までの期間に当院の集中治療室系病棟（GICU・HCU・EHCU・SCU・CICU）に入室した5144名のうち、下記に該当するリハビリテーション治療をおこなった患者さんです。

- ・全身振動刺激下でのスクワット運動をおこなった患者さん
- ・全身振動刺激を用いないスクワット運動をおこなった患者さん

2. 研究期間

研究実施許可後～2028年6月30日までを予定しています。

3. 研究目的・方法

近年、集中治療室でのリハビリテーション治療において、全身に振動を付加することで筋活動を誘発する全身振動装置（図1）が用いられています。この全身振動装置は、振動を付加しない場合の運動と比較して、筋活動が増加すると報告されており、運動をより効果的にこなす目的で使用されます。そのため、当院においても集中治療室に入室された患者さんに対して、全身振動装置を用いたリハビリテーション治療をおこなっています。しかし、全身に振動を付加することで医療デバイスが抜けてしまうリスクなども考えられます。したがって、本研究は、当院の集中治療室系病棟に入室した患者さんに対する全身振動装置を用いたリハビリテーション治療の安全性について、過去の診療記録を用いて調査することを目的とし、集中治療室におけるより安全で効果的なリハビリテーション治療につなげていきたいと考えております。



図1 Personal Power Plate® Standard
(Performance Health System LLC社製)

4. 研究に用いる試料・情報

（利用する情報の種類：診療録の情報）

年齢、性別、身長、体重、体格指数、病名、既往歴、合併症、診療科、入院日数、棟滞在日数、転帰、リハビリテーション治療日数、リハビリテーション治療内容、介入人数、全身振動刺激実施の有無と内容、有害事象の有無と内容、医療デバイスの種類および装着数、医療デバイスの装着期間、リハビリテーション治療中の有害事象の内容

- ・本研究で用いる上記の情報は、氏名や住所等の個人が直ちに特定される可能性のある情報は取り除いて加工したうえで取り扱います。また、その加工した情報と個人を照合するための情報（表）を作成しますが、リハビリテーション室内の保管庫に鍵をかけて厳重に管理いたします。学会発表等、研究結果を公表する際にも研究参加者のプライバシーが保護されるように配慮いたします。また、本研究で用いる情報は、研究終了後から5年間厳重に保管し、その後、復元不可能な状態で廃棄します。
- ・本研究に用いる情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。その場合、岩手医科大学ホームページ（実施中の臨床研究に関する情報公開）に新たに計画・実施される研究に関する情報を公開し、お知らせいたします。

5. 研究費および利益相反

本研究はリハビリテーション医学講座の講座研究費を用いておこなわれます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先は以下になります。

研究事務局：菅野 成樹
岩手医科大学附属病院リハビリテーション部
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号
TEL：019-613-7111（内線：2331）
E-mail：s.naru9032@gmail.com

研究責任者：
岩手医科大学医学部リハビリテーション講座 西村 行秀